

令和2年 3月31日

福知山市議会議長 様

会派名 新政会
代表者名 中嶋 守



政務活動費実績報告書

令和元年 5月 1日付け 議会発第 166-6 号により交付決定のあった政務活動費において、令和元年度 下半期（10月から3月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

記

- 1 令和元年度政務活動費の額（ 下半期 ） 559,476円
- 2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項目	金額（下半期）	主な支出内容
調査研究費	174,980円 39,816円	行政視察 タブレット端末通信費
研修費	299,320円	市町村議会議員研修 市町村財政分析基礎講座
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	45,360円	日経グローバル購読代金
人件費		
事務所費		
合計	559,476円	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



(様式1)

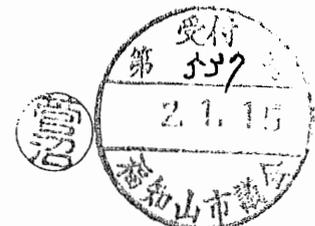
令和 2年 1月15日提出

福知山市議会
議長 様

会 派 名 新 政 会
代表者名 中 嶋 守 

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察・研修年月日 令和 元年 11月 7日 (木) ~ 11月 8日 (金)
- 2 視察研修先 (1) 福井県勝山市 (2) 福井県大野市
- 3 参加者氏名 中嶋 守・柴田 実・芦田眞弘・田淵裕二・大槻泰徳
藤本喜章・尾嶋厚美
以上 7名
- 4 経 費 合計174,980円 (24,997円/1人あたり)
- 5 視察・研修項目
 - (1) 福井県勝山市
・子育て支援日本一の取り組みについて
 - (2) 福井県大野市
・有害鳥獣対策について
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料 (別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



視察日 令和元年11月7日(木)

視察先 福井県勝山市

調査項目 「子育て支援日本一を目指して」の取り組みについて

調査概要 市長の熱い思いもあり、以前から子育て支援に重点を置いた取り組みをされています。人口減少とりわけ出生数の低下に危機感を抱かれ、また勝山市の特徴として共働き世帯が多いことが背景にあるようだ。

【主な特徴ある事業】

- 児童センター利用料無料(全小学校)
- 放課後児童クラブについて定員を設けず無料で運営されている。
- 子ども医療費について、中学校終了まで無料。
- すくすく育成奨励金、29年度より第3子以上の出生に対して20万円の育成奨励金の支給。
- 児童インフルエンザ予防接種費用の助成、1人1回につき1,000円助成、小学生、年2回、中学生、年1回
- にこにこ妊婦奨励金、妊婦検診を福井勝山病院で1回目から受診し、県内の病院で出産した場合10万円支給。

考察・効果 ○本市と人口規模や財政規模が異なるので、全てを参考にする事は出来ないが細かな部分まで配慮された施策を展開されていると感じた。

○令和元年10月から幼児教育、保育の無償化がスタートしたが、勝山市は保育料についてこれまでの国の基準より4割程度安く、福井県トップの軽減率で、第3子以降は就学前まで無料である。今後どのような影響があるのか気になるところである。

○特徴ある施策を展開するには、市長の強い意志を発信することが必要であると改めて感じた。



福井県勝山市役所

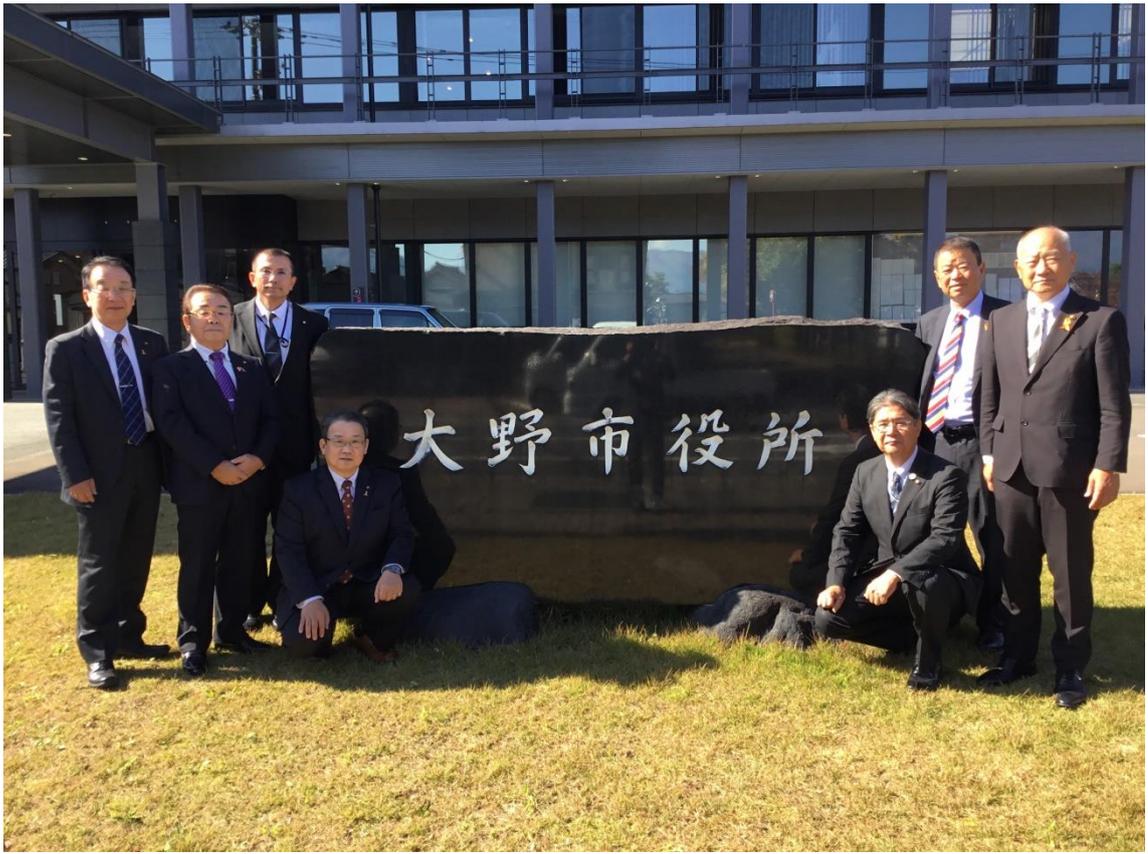
視 察 日 令和元年11月8日(金)

視 察 先 福井県大野市

調査項目 有害鳥獣対策について

調査概要 ○被害金額、被害面積ともイノシシが最も多く、約8割を占めている。本市で多くの捕獲があるシカの被害や出没は軽微のようである。
○高い山が多く、シカが人里まで降りてくることは少ないようで、熊がシカを食べているのではないかと言われていた。最近は特に熊の目撃が多くなっている。
○今年は豚コレラの発生で、イノシシが殆どいなくなった。
○山際集落のほぼ全体(18万メートル)を電気柵で囲む対策を重点的に講じている。
○山際集落と市が協定を結び、捕獲部隊員と地元住民が協力して檻を設置し、捕獲を行っている。
○カワウ、カラスについては追い払いや捕獲活動を実施。
○ニホンザルについては、近年被害の相談が増加。大型のサル檻を導入して捕獲の強化を図っている。

考察・効果 ○大野市は福井県猟友会大野支部61名、和泉支部12名の会員の事務局を担っている。その中で大野市有害鳥獣捕獲隊50名と大野市鳥獣被害対策実施隊(市職員38名、猟友会8名)を編成し、被害の実態に合わせた計画的な捕獲を実施。
○高齢化や後継者不足の課題がある。
○大野支部には女性が6名加入しており、狩猟技術は先輩(猟友会員)に付き添い、一緒に行動し身につけている。
○地域おこし協力隊として、鳥獣害対策専門に1名おり狩猟の魅力を発信し猟友会の会員増加に貢献している。



視察研修行程表

会派名		「新政会」 中嶋 守 柴田 実 芦田真弘 田淵裕二 大槻泰徳 藤本喜章 尾嶋厚美					
日程		11月7日 福井県勝山市			11月8日 福井県大野市		
日次	月日(曜)	行程					
1	11月7日 (木)	<p>集合7時20分</p> <p>7:43 きのさき6号 9:03 9:09 サンダーバード9号 10:30 10:55 えちぜん鉄道 11:48 福知山 → 京都 京都 → 福井 福井 → 勝山</p> <p>13:10 13:30 ————— 15:30</p> <p>昼食 縄文の里 勝山市役所視察研修 宿泊先 勝山市 0779-88-3666 子育て支援日本一の取り組み 勝山ニューホテル 0779-88-2110</p>					
2	11月8日 (金)	<p>勝山ニューホテル → 大野市役所 10:00 ————— 12:00 昼食 平成大野屋 はいから茶屋 勝山市議会事務局 送迎 大野市役所視察研修 0779-69-9200 有害鳥獣対策について</p> <p>15:08 九頭竜線 16:03 16:08 サンダーバード32号 17:39 18:28 きのさき15号 19:58 越前大野 → 福井 福井 → 京都 京都 → 福知山</p>					
3	/						

支出科目： 調査研究費
合計金額： 165,270円
(23,610円 × 7人)

別紙明細書添付

領 収 書

令和元年 11月 1日

福知山市議会 新政会 様

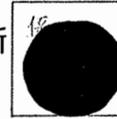
現金 _____
小切手 _____
その他 _____

金 額	¥165,270
-----	----------

但し 勝山市、大野市視察研修
費用として



国際交流の一翼を担
株式会社
KSAインタープライズ福知山営業所
〒620-0866 京都府福知山市前田新町194番地
TEL 0773 (27) 1414 FAX 0773 (27) 8786



令和元年11月1日

請求書

福知山市議会 新政会 様

毎度格別なお引立てを頂き有難うございます。
下記のとおりご請求申し上げますのでよろしくお願いいたします。

ご請求金額

¥ 165,270 円

日付	種別・適用	金額		
		【単価】	【人数】	【合計】
	** 福井県:勝山市、大野市視察研修費用 **			0
11月7日	JR乗車券 福知山～福井	4,070	7	28,490
11月7日	JR特急券 福知山～京都 (自由席)	990	7	6,930
11月7日	JR特急券 京都～福井 (自由席)	1,860	7	13,020
11月8日	JR乗車券 越前大野～福知山	4,840	7	33,880
11月8日	JR特急券 福井～福知山 (自由席)	1,860	7	13,020
11月8日	JR特急券 京都～福知山 (自由席)	990	7	6,930
11月7日	宿泊 勝山 勝山ニューホテル	9,000	7	63,000
	合計			165,270
	差し引金額			165,270

銀行振込みの場合は 月 日までをお願いいたします。
振込み手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

【振込み先】


株式会社 KSAエンタープライズ
福知山営業所
〒620-0866
福知山市前田新町194
TEL0773-27-1414 FAX0773-27-8786
代表取締役
担当者 

支出科目： 調査研究費
合計金額： 4, 320円
手土産代(勝山市・大野市)

領 収 証

福知山市議会 新政会

様

No. _____

★ 74320-

但 勝山市議会 2個

2019年11月5日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウゲ-1097

合同会社 ちきり屋

〒620-0872 京都府福知山市字園ノ2-3

TEL 0773-22-3632 FAX 0773-22-3348

支出科目： 調査研究費

合計金額： 5,390円

えちぜん鉄道 福井～勝山

(770円 × 7人)

購入証明書

No.02-026119

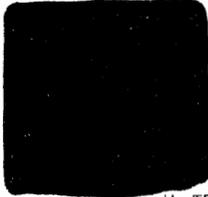
2019年11月07日(木) 10時37分

福知山市議会 新政会様

担当者: 

	数量	金額
片道乗車券	7	5,390円

えちぜん鉄道


福井駅

 えちぜん鉄道

令和2年 1月24日提出

福知山市議会
議長 芦田 眞弘 様

会 派 名 新 政 会

代表者名 中 嶋 守



政務活動費研究研修視察報告書

- 1 研修年月日 令和2(2020)年1月9日(木)～1月10日(金)(2日間)
- 2 研修先 滋賀県大津市唐崎二丁目 13 番 1 号 電話 077 578 5931
全国市町村国際文化研修所国際文化アカデミーJIAM)
- 3 参加者氏名 尾嶋厚美 1名
- 4 経 費 合計 13,240円
- 5 研修項目 令和元年度 市町村議会議員研修 2日間コース
防災と議員の役割
 - ① 講義 地域防災力を向上させるために
講師 首都大学東京 名誉教授 中林 一樹 氏
 - ② 講義・演習 平時の防災と議員の役割
講師 跡見 学園女子大学 観光コミュニティ学部
コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
講師 防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
 - ③ 事例紹介 災害弱者への対応～熊本地震における経験より～
講師 熊本市市議会 村上 博 氏
講師 跡見 学園女子大学 観光コミュニティ学部
コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
 - ④ 講義・演習 災害時・復旧・復興期の議員の役割
講師跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部
コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
講師 企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
 - ⑤ 講義 ふりかえりとまとめ
講師跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部
コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏
講師 企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

日時 令和2年1月9日(木) 13:00~14:30

講義 地域防災力を向上させるために

講師 首都大学東京 名誉教授 中林 一樹 氏

1 研修内容

(1) 荒ぶる21世紀と地域社会の脆弱化

自然災害続発⇒大地動乱・大水氾濫・大気乱流、要支援者が増大⇒高齢社会
コミュニティが崩壊⇒地域の高齢化、地縁の喪失、国際化⇒外国人が激増する
国際社会

(2) 災害が複合化・広域化する21世紀：二つの「複合災害」と「広域巨大災害」

「複合災害：同時被災型」⇒同じ被災地が、復旧復興途上において再び災害を
被り、被害が甚大化する空間的複合災害

「複合災害：同時対応型」⇒同じ自治体内で異なる複数の災害が異なる地域で
発生し、同時対応が必要な」対応的複合災害

「広域巨大災害：同時被災・同時対応型」⇒3都道府県以上が同時に被災して
各々1000人以上の犠牲者を出し、被害拡大と同時対応を近隣からの支援な
く実施。複合災害化することが多い。 災害関連死⇒80%~90%高齢者

(3) 日本の高齢社会化と巨大災害時の支援体制

支援者が減少し、要支援者が多くなる「超・超高齢社会」だからこそ、平時に
自助・共助の仕組みをつくっておく。

(4) 二つの「危機管理」と「地域防災力」⇒リスク管理、クライシス管理

(5) 事前情報 の有無で異なる「余地災害」と「突発災害」

(6) 突発災害(地震)のリスク管理としての「事前防災」

(7) 事後のクライシス管理としての「災害対応」

特に事前情報がある風水害⇒「空振り」は命を救うが「見逃し」は、死を招く

(8) クライシス管理としての「応急復旧」

「地域防災計画」⇒「災害活動マニュアル」⇒「自治体・企業BCP(業務継続
計画)」

(9) 将来のリスク管理としての「災害復興」

(10) まとめー自然災害における危機管理と防災⇒事前の危機管理は「リスク管理」 ⇒発災⇒事後の危機管理は「クライシス管理」

2 評価

超高齢社会は、①高齢者こそ「自助」すべき②「自助」が「公助」を可能にする。
自助と共助が公助を有効にする認識を徹底する必要がある。

3 写真・資料等 資料「地方議員」に最も期待する「防災取組10カ条」を参照

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

日時 令和2年1月9日(木) 14:45~15:55
16:10~17:30

講義・演習 平時の防災と議員の役割

講師 跡見 学園女子大学 観光コミュニティ学部

コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏

講師 防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

1 研修内容

○ 防災の正四面体

自助：減災対策、家族情報、持ち出し品

近助：近所、消防団、自主防災会、福祉など（従来からの共助）

共助：ボランティア、NPO、企業など（新たな共助）

公助：行政、病院、学校など防災計画、BCP、広域連携

○ 近年の現況

高齢化がどんどん進む+単身世帯がどんどん増える+近所づきあいは減っている+町内自治会活動への参加も低下+減り続ける消防団員数+公助にも限界が+減り続ける自治体職員⇒如何に対応すべきか。

○ 何故、人は備えないのか。何故、行政の災害対策の優先順位は低いのか。⇒正常化の偏見「自分は大丈夫」：自分にとって都合の悪い情報を無視し過小評価してしまう人間の特性がある。危険だというスイッチを入れる。

○ ワークショップ1回目(平時の防災) 話し合い意見の抜粋

大災害時に行政が効果的な対応をするために・・・平時にすべきこと。

- ・日頃から職員、部等の交流をして業務内容をお互いに把握しておく
- ・災害時の体制作りについてあらかじめ決めておく
- ・以前にもやったという固定観念を捨て、危機感を持つ
- ・防災訓練など具体的なマニュアル作成
- ・議会内マニュアル作成
- ・災害対策本部の独立、体制と役割の分掌明確化
- ・自助、共助を軸に考えたコンセンサスづくり
- ・情報の一元化(だれでもできるマニュアル化)

2 評価

近年現況傾向を対処するためにも自助・近所の力を涵養させる必要がある。特に、人間の特性である悪い情報を無視し「自分は大丈夫」「この地域は災害がない」と思う気持ちを排除し防災・減災に取り組んでいくことが大切であると思料する。

3 写真・資料等 資料「防災の正四面体」参照

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

日時 令和2年1月10日(金) 09:00~10:10

事例紹介 災害時の対応～熊本地震における経験より～

講師 熊本市市議会 村上 博氏

講師 跡見 学園女子大学 観光コミュニティ学部

1 研修内容

熊本市議会議員 村上 博氏⇒1歳半の時に小児麻痺の後遺症により現在車いすで生活 1999年熊本市議会初の車いす議員として初当選(現在5期目)

- 地域の避難所は、どのような状況だったか。
 - ・多くの人であふれる避難所
 - ・車中泊を余儀なくされた人
- 障害者の避難所
 - ・福祉避難所に全員は避難できない。
 - ・地域の避難所にも避難できない。⇒ほとんどが自宅避難
 - ・インクルーシブ(包括的な・包み込)避難所への挑戦⇒熊本学園大学の取り組み
 - ・インクルーシブ避難所はなぜできたのか
 - 多目的トイレや建物内での動線の確保
 - 学校の理解による障害者、高齢者の配慮
 - 介護することができる人員の確保
 - 全国からのボランティア支援
- 従来のバリアフリー仮設住宅⇒車いすでの行動に制限を受ける。障害者の目線で改善されていない。⇒阪神大震災、新潟中越地震、東日本大震災でも同じ問題がおきていた。⇒今回真のバリアフリー仮設住宅
 - ・平成29年4月1日からの改正点
 - 面積を自治体の実情によって決められる。
 - 経費の上限が5,714,000円になった。

2 評価

バリアフリー仮設住宅は、阪神大震災、新潟中越地震、東日本大震災でも同じ問題がおきていたようであり障害者の目線(使用する立場)で考えていない。今までの災害の教訓が活かされていなかったということをあらためて認識することができた。今回、改善できたことは、政治的な取組で要望を出すことの重要性を感じた。

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

日時 令和2年1月10日(金) 10:25~13:35

講義・演習 災害時・復旧・復興期の議員の役割

講師跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏

講師 企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

1 研修内容

災害時の議会・議員活動～ワークショップ～(多い意見を抜粋)

話合いのテーマ⇒大災害時に議会、議員が効果的な対応をするために

- ・議長が代表として災害本部と連携。対外対策。
- ・議員は、市民の代弁者：議員でないと叶わない発言力がある。県や国へのパイプを大いに使って役に立つ。国を動かす。
- ・災害発生時、中間、長期的展望：議会と議員の役割と対策、パイプライン。
- ・避難所の運営は、地域の長が行う。
- ・議員が行政の足を引っ張らないこと。
- ・収集した情報を議長に一元化し、行政・市民に伝える。
- ・スタンドプレー禁止
- ・議会としてのマニュアル作成(議長としての役割、議員としての役割、常任委員会としての役割など)
- ・発災直後は、地域住民として活動する。一定期間後は、議会として一つになって行動する。
- ・弱者の皆さん、障害者、高齢者、女性の声を届ける。
- ・国や県への要望は行政と議会が一体となって伝える。
- ・避難所の運営に関わり、地域の情報を収集する。
- ・議会としては、議会事務局が中心となり、議員への指示要望を受ける。タブレットもいいが、防災無線を隊員に配備。
- ・隣接する自治体との福祉避難所・備蓄・発電・給水車等協力するための計画を作成する。

2 評価

災害時、議員は、まず安否確認及び連絡先の確認、災害等の状況把握及び情報収集、当初、地域住民として行動、事後、議員として各議員との災害等の情報共有化をすることは、認識しているが、実際の行動がとれるか心配がある。今回のワークショップでも多く意見があったが、議会として、議長、議員の具体的なマニュアル作成、予行の実施により改善していくことが必要であると思料する。

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

日時 令和2年1月10日(金) 13:45~15:00

講義 ふりかえりとまとめ

講師跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一 氏

講師 企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 恵美子 氏

1 研修内容

鍵屋 一 氏の投稿記事から抜粋

これまでの議員研修の集合知の項目()内は、29年度議員研修アンケート(全数70)で賛成数

○ 議会がすべきこと

- 1位 災害時の議会・議員活動方針策定(66、賛成率94%)
- 2位 情報の一元化(64、賛成率91%)
- 3位 行政に負担をかけない議会運営(57、賛成率81%)

○ 議会がしてはならないこと

- 1位 行政に負担をかける議会運営(55、賛成率78%)
- 2位 応急対策への批判的質疑(53、賛成率76%)
- 3位 災害直後の議会開催(48、賛成率69%)

○ 議員がすべきこと

- 1位 情報収集・提供(68、賛成率97%)
- 2位 地域支援活動(68、賛成率97%)
- 3位 国等関係機関への要望(50、賛成率71%)

○ 議員がしてはならないこと

- 1位 行政職員を威嚇(68、賛成率97%)
- 2位 支援者への利益誘導(68、賛成率97%)
- 3位 行政批判(62、賛成率89%)

○ 災害時の議会、議員の役割

- ・議会⇒1①情報の一元化 ②行政に負担をかけない議会運営
- ・議員⇒1①情報収集・提供 ②地域支援活動 ③批判や利益誘導の禁止

○ 課題

議会对策本部を設立すると執行部の災害対策本部と並立

処置⇒災害対策連絡会議と一段低い位置づけにして競合を避ける。

2 評価

今回の研修に参加し議員としての災害における行動を把握することができた。実際の行動ができるよう具体的なマニュアル作成が必要と思料する。

地方議員に最も期待する「防災の取組10カ条」

- ① (前) 地方議員は、公人である前に住民として“防災達人”たれ。
『防災達人テスト(木造住宅編)(マンションへ編)』やってみよう!
- ② (前) 災害時の活動は、平時以下でも、平時以上でもない。
- ③ (前) 学校防災の強化にもっと目を向け、地域を支える“人材育成”
- ④ (前) 地域防災計画、災害活動マニュアル、BCPを十分理解する。
- ⑤ (前後) 事前防災も発災対応も、住民目線・女性目線を忘れない。
- ⑥ (後) 発災7日間は、地域住民として、地域で活動する。
- ⑦ (後) 議員としての活動は、議会として“会派連携”が基本。
- ⑧ (後) 被災後の対応は、“公平・平等・公正”が原則。
- ⑨ (後) 職員も被災しているので、行政を支援し、住民を支援する。
- ⑩ (後) 復旧・復興計画策定からは“復興後の地域の維持管理”を念頭に、執行部(行政)に対する「チェック機能」を。

防災の正四面体

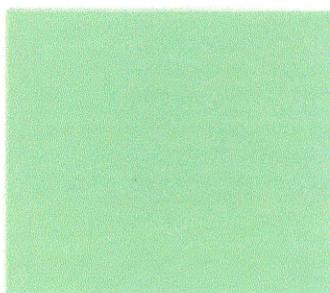
自助

(減災対策、家族情報、持ち出し品)

(新たな) 共助

ボランティア、
NPO、企業な
ど)

→多様な主体
の(三者)連
携



公助

行政(国、自治体、警察、消防、自衛隊)、病院、
学校など)→防災計画、BCP、広域連携

近助

(従来からの共助)
近所、消防団、自
主防災会、福祉
など)

→地区防災計画

視察研修行程表

日数	月日	発着地	時間	摘 要	備考
1	1月9日 (木)	福知山駅	08:38	特急 福知山駅 ⇒ 京都駅 ⇒ 唐崎駅 08:38 10:07 10:11 10:25 自由席	
			11:00	入寮受付・昼食	
		全国市 町村国 際文化 研修所 国際文 化アカ デミー JIAM	12:30	開講式・オリエンテーション	
			13:00 ～ 14:30	講義 地域防災力を向上させるために	
			14:45 ～ 15:55	講義 平時の防災と議員の役割	
			16:10 ～ 17:30	演習 平時の防災と議員の役割	
			17:45 ～ 20:00	交流会	
			07:30	朝食	
2	1月10日 (金)	全国市町 村国際文 化研修所 国際文化 アカデミ ーJIAM	9:00 ～ 10:10	事例紹介 災害弱者への対応～熊本地震における経験より～	
			10:25 ～ 13:35	講義・演習 災害時・復旧・復興期の議員の役割 (途中昼食休憩有)	
			13:45 ～ 14:45	講義 ふりかえりとまとめ	
			14:45 ～ 15:00	閉講・事務連絡	
			15:05	特急 唐崎駅 ⇒ 京都駅 ⇒ 福知山駅 15:05 15:20 15:25 16:40 自由席	

支出科目： 研修費
合計金額： 7,300円

領 収 書

新政会 尾嶋 厚美 様

金額 7,300 円

但し、

令和元年度市町村議会議員研修[2日間コース]
「防災と議員の役割」

の 研修に要する経費
として上記の金額を領収いたしました。

令和元年12月25日

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 伊藤 茂樹

領収書No. 383

支出科目： 研修費（交通費）

合計金額： 5,940円

JR 福知山～唐崎 往復乗車券

JR 福知山～京都 片道特急券

JR 京都～福知山 片道特急券

領 収 書	辰嶋厚美	様
Receipt		
領収年月日	2020.-1.-8	
金額	¥5,940	(消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました		
購入商品	JR乗車券類 JR tickets	
(20044 4枚)		
西日本旅客鉄道株式会社		印紙税申告納
福知山駅		付につき大定
福知山駅F1発行	30045-02	税務署承認済

乗車券 (ゆき)

.....0000.....

福知山 → 唐崎

經由:山陰・東海道・湖西

1月9日から1月12日まで有効

¥XXXX

2020.-1.-8 福知山駅F1発行
20044-01 (4-) C04

B自由席特急券

福知山 → 京都

1月9日当日限り有効

1回限り有効

¥990

2020.-1.-8 福知山駅F1発行
20044-03 (4-) C12

乗車券 (かえり)

.....0000.....

唐崎 → 福知山

經由:湖西・東海道・山陰

1月9日から1月12日まで有効

¥3,960

2020.-1.-8 福知山駅F1発行
20044-02 (4-) C04

B自由席特急券

京都 → 福知山

1月10日当日限り有効

1回限り有効

¥990

2020.-1.-8 福知山駅F1発行
40046-01 (4-) C12

令和2年2月7日提出

福知山市議会

議長 芦田 眞弘 様

会 派 名 新 政 会

代表者名 中 嶋 守



政務活動費研究研修視察報告書

- 1 研修年月日 令和2(2020)年1月16日(木)～1月17日(金)(2日間)
- 2 研修先 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103 Tel:042-586-7651
- 3 参加者氏名 田渕 裕二、大槻 泰徳、藤本 喜章、尾嶋 厚美 計4名
- 4 経 費 合計286,080円(一人当たり71,520円)
- 5 研修項目 よくわかる市町村財政分析基礎講座 2日間コース
講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう) (NPO 法人多摩住民自治研究所理事)

(1) 1月16日(木)

第1講 13:00～14:00

決算情報をいかに予算審議と連動させるか—誰でもできる財政分析

第2講 14:15～15:45

市町村のふところは一歳入の仕組みを考える

第3講 16:00～18:00

議会・市民から見た税金の使われ方—歳出の仕組みを考える

第4講 18:15～19:30

様々な「財政指標」の見方、読み方、使い方

(2) 1月17日(金)

第5講 9:15～12:00

類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ

昼食 12:00～13:00

第6講 13:00～14:30

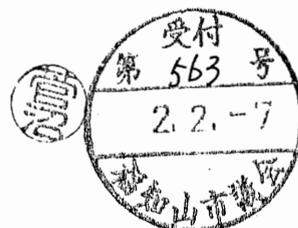
地方交付税制度の基礎の基礎～随時財政対策債にも触れて

第7講 14:30～15:00

わがまちの財政分析～市町村財政分析講座でできるようになること

6 添付資料 視察研修行程表 (別添のとおり)

7 経費精算書 (別添のとおり)



政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

第1講

日時 令和2年1月16日(木) 13:00~14:00

講義 決算情報をいかに予算審議と連動させるか—誰でもできる財政分析

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

第2講

日時 令和2年1月16日(木) 14:15~15:45

講義 市町村のふとこは一歳入の仕組みを考える

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

第3講

日時 令和2年1月16日(木) 16:00~18:00

講義 議会・市民から見た税金の使われ方—歳出の仕組みを考える

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

第4講

日時 令和2年1月16日(木) 18:15~19:30

講義 様々な「財政指標」の見方、読み方、使い方

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

1 研修内容

初めに財政健全化法が施行されて10年、果たしてわがまちは「健全」になったのか

(1) 2019年度決算議会を終えて、2020年(令和2年)度予算議会にどのように臨むのか

ア 改めて、決算ほど財政情報を豊かにするものはない

i) 法定4書類(歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書)

ii) 経年の決算カード

iii) 経年の類似団体比較カード

iv) 経年の財政状況資料集

イ 行政評価を加えて決算論議をやれば決算と予算は連動ないし循環する

i) 計画(Plan)→ 執行(Do)→ 評価(Check)→ 改善(Action)

ii) 事業評価を含めた政策議論ができ政策の優先順位が決まってくる

(2) 今日の市町村財政危機や悪化の原因はどこにあるのか

ア 国と地方の財政制度の不適切な関係(例えば財政制度からくる3割自治)

イ 経済のグローバル化(直近ではリーマン・ショック)

ウ バブル経済崩後の政策不在(「失われた20年」という閉塞的な時代)

エ 都道府県の経済・開発政策や財政制度

オ (都道府県の長期給合計画や平成の大合併に果たした役割)

市町村固有の社会状況や財政運営

決算カードや類似団体カードを用いていかにアイウエにアプローチし実証するのか

(3) どこにどんな資料があれば自治体の財政がわかるのか

・資料⇒広報(予算、決算)、予算書及び予算説明書、決算書、地方財政状況調査表(決算統計)

自治体財政の決算概況(決算カード)、各年度財政状況資料集、財政健全化法にもとづく総務省

提出書類(総括表①—④)、財政状況似団体比較カード(類団カード)、地方交付税算定台帳

統計書、市勢概要、審査意見書、予算及び決算特別委員会会議録、財政白書、長期総合計画
 財政情報の透明性が高まれば高まるほど、財政の効率が向上したり、財政危機のリスクが小さくなる。
 長期的には、ライフステージに見合った地方自治学習が必要である。具体的に参考例としてニセコ町が原点(「ニセコ町まちづくり基本条例」第41条予算編成『もっと知りたいことしの仕事』
 毎年度ニセコ町予算説明書より)

(4) どのようにすれば自治体の財政がわかり、議員や市民が太刀打ち

- ア 年度の広報を見て何がわかるの⇒経年的な視点が必要、経年的に広報を検証
 広報誌における決算書等の掲載について、東村山市の広報誌が財務分析等含めて市民にわかりやすく掲載されている。
- イ 都道府県の類似団体、都南化、地域特性との比較⇒具体的なイメージのもてる近隣市町村や同規模の自治体と比べてみる(例.各年度『財政状況類似団体比較カード』)

(5) 歳入構造の分析

歳入構造	主な一般財源	主な特定財源
自主財源	地方税	使用料,手数料
依存財源	地方交付税 地方消費税交付金	地方債 国庫,都道府県支出金

(6) 歳出の分析とその方法

歳出は社会経済の発展形態、市民の意識や価値観の変化、地域社会のさまざまな変貌などに伴って逐次変化する。当面福祉・教育文化、環境型予算にしていくためには、歳出の合理的分と、長期的展望に立脚した財政運営の確立が必要である。そのために時系列比較や類似団体比較、あるいはバブル経済始動期の構成比などによって歳出の特徴や使われ方が見えてくる。

(7) 歳出の仕組みを診断するうえでの基礎的分類

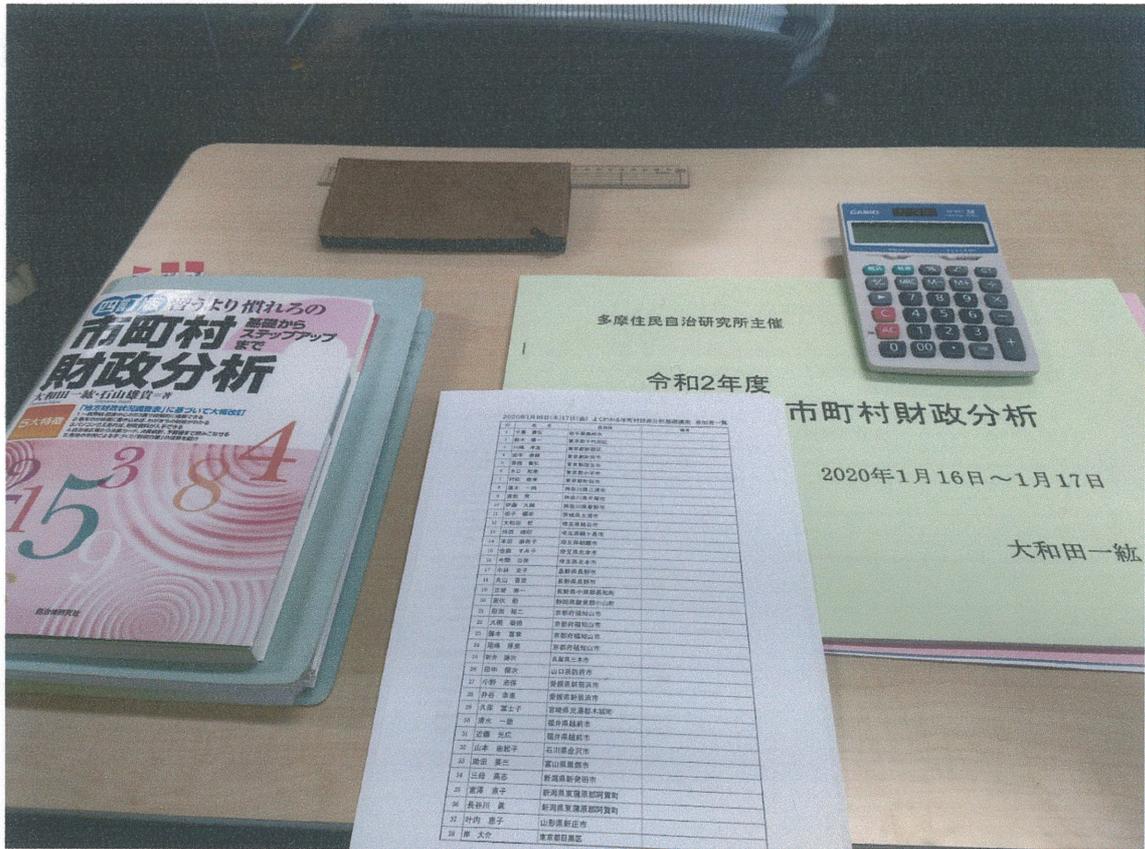
目的別歳出

経費をその行政目的に応じて区分し個々の行政サービスの水準や行政上の特色を分析するのに有効である。予算・決算における『款・項・目』の区分を基準とする。

2 評価

2000年4月の地方分権一括法が契機となり、総務省方式の決算カード(決算状況)が、2001年から入手できるようになり、総務省方式の決算カードの公開によって、住民が住む自治体の変化や変容を読み解くことが可能となっています。さらに、隣接自治体と比較したり決算統計(地方財政状況調査表)の入手も可能になっています。財政健全化が制定され、自治体は実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公積費比率、将来負担比率を算定し、公表することを義務化され、2010年以降は、健全化判断比率・資金不足比率カードと従来からあった決算カード、財政状況等一覧表、財政比較分析表、歳出比較分析表とが財政状況資料集にまとめられ財政状況資料を見ることで、普通会計だけではなく公営事業会計にも目が届くようになっていきます。さらに、類似団体比較カードの公開によって類似団体と比較することが可能になっています。しかしながら財政状況資料集といった財政資料が非常に「読みにくい」ものであり、これらの資料を見ても何が書いてあるのかよくわかりません。財政情報を公開する量が増えながらも、財政状況資料を活用したチェック機能が不十分な現況であると認識しております。このようなことから、「よくわかる市町村財政分析基礎講座」の研修に参加させていただき基礎的事項の把握でき事後の学習の足掛りができたと思料致します。

3 写真・資料等



テキスト『四訂版 習うより慣れろの市町村財政分析』
大和田一紘・石山雄貴著、2,750円、自治体研究社



学習風景

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 新政会)

第5講

日時 令和2年1月17日(金) 09:15~12:00

講義 類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

第6講

日時 令和2年1月17日(金) 13:00~14:30

講義 地方交付税制度の基礎の基礎~睡時財政対策債にも触れて

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

第7講

日時 令和2年1月17日(金) 14:30~15:00

講義 わがまちの財政分析~市町村財政分析講座でできるようになること

講師 大和田 一鉦 (おおわだいっこう)

1 研修内容

(1) 類似団体比較カードとはなにか

ア 財政運営の堅実性(収支の均衡の維持、「やりくり上手」)

財政構造の弾力性

イ 経済変動や地域社会の変化に耐えうる弾力性がある「ゆとり」

ウ 住民のニーズに応え、行政水準の向上や満足度を確保する

住民生活の向上や地域経済の発展に対応する「市民的公共性」

以上の観点で財政運営を分析するとき、類似した条件にある団体の財政運営の実態を捉え、比べることで自らの財政運営の特徴点を容易に捉えることで極めて有効である。

(2) 経常的経費と投資的経費

ア 経常的経費

義務的経費⇒法令の規定で義務づけられて任意に削れない。

決算カードの小計

- ・人件費 …… 正規員給与・議員報酬・特別職給与
- ・扶助費 …… 生活保護法・児童福祉法・老人福祉法や支援法などが根拠
- ・公債費 …… 地方債の元利償還金及び一時借入金利子
- ・その他の経常的経費
- ・物件費 …… 需用費・賃金(非正規)・旅費・交際費・物品購入
(指定管理含む)などをいう
- ・維持補修費 自治体が管理する公共用施設のランニングコスト
- ・補助費等 …… 負担金、補助及び交付金・寄付金・報償金など支出
が「公益上必要である場合」(地方自治法第232条の2)とは

※財政運営の適否を診断する場合の注目すべき費目

⇒議員と住民の二人三脚で

- ① 負担金 …… 上位団体及び同等の団体に対して、団体の構成員の地位で支出するもの
- ② 補助金・交付金 …… 外部団体や住民団体などに交付される

- 1) 産業助金
- 2) 資本形成上=建設事業の施行のため
- 3) 給付=外郭団体の運営費補助
- 4) 臨時的力傾か

- ・繰出金……一般会計から公営事業会計等に対して、建設費・事務費等への補助のために支出される
- ・投資及び出資金・貸付金
 - …… 本来は社会福祉や産業振興のために投資したり、行政目的で個人等に貸付けるが、今日第三セクターや外郭団体、地方公社に貸付けしている場合は「夕張問題」で特に注目された貸付金で、諸収入と深いつながりに要注意、監査委員が執行状況を監査できるとされている。
 - (地方自治法 199 条の 1)

イ 投資的経費

支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来残るものに支出される経費をいう。

- ① 普通通建設事業費
- ② 災害復旧事業費
- ③ 失業対策事業費に分類される。

普通建設事業を指し社会資本(インフラ)の形成に役立ち即効性があると言われ、一般的にその割合が高いと、財政のゆとりがあり政策的経費が大きいと言われてきた。

- ・補助事業⇒国家的な見地から国庫から直接、間接の補助を受ける。都道府県の単独の補助を受けている事業をいう。
- ・単独事業⇒国庫補助を受けない自治体が一般財源や地方債で行う。地域の特性に応じた創意工夫で住民ニーズに対応した運用ができる

2 評 価

田淵裕二議員

今回の市町村財務分析研修は、参加議員の所属市町の財務資料(決算カード・決算統計資料・決算説明書)等を持参し、歳入、歳出、決算収支等の財務項目・金額を分析シートに手書きで記入し、財務指標を作成していく作業を行い、自らの市町の財務分析表を作成し、類似団体との財政比較、特別会計や補助金の分析方法などの研修を受けた。大変重要で参考になる実務研修となった。

大槻泰徳議員

財務の専門用語、各数値の見方、類似団体との比較等を、一泊二日の工程で東京都立川市に出向き、学んで参りました。その中で、本市の財政状況がどのような状況にあるのかも、少しですが理解出来たと思います。全国的に人口減少が続く中各市町村共々厳しい財政運営を、して行く事を求められております。今後とも英知を出し予算、決算等に反映して行くように努めます。

藤本喜章議員

今回の講座参加においては一年生議員として市町村財務を少しでも理解できるようにとのことで、参加いたしました。

- ① 経常収支比率において、臨時財政対策債を歳入計上するのとしないとでは、経常収支比率が変わってくることを理解が出来ました。
 - (例):平成 29 年度決算では臨時財政対策債加えると 97、7% 加えない 103、7%である。
- ② 平成 29 年度公債費負担比率 20、6%で危険な状態とのこと。

③ 広報誌における決算書等の掲載について、東村山市の広報誌が財務分析等含めて市民にわかりやすく記載されているので参考にしは。

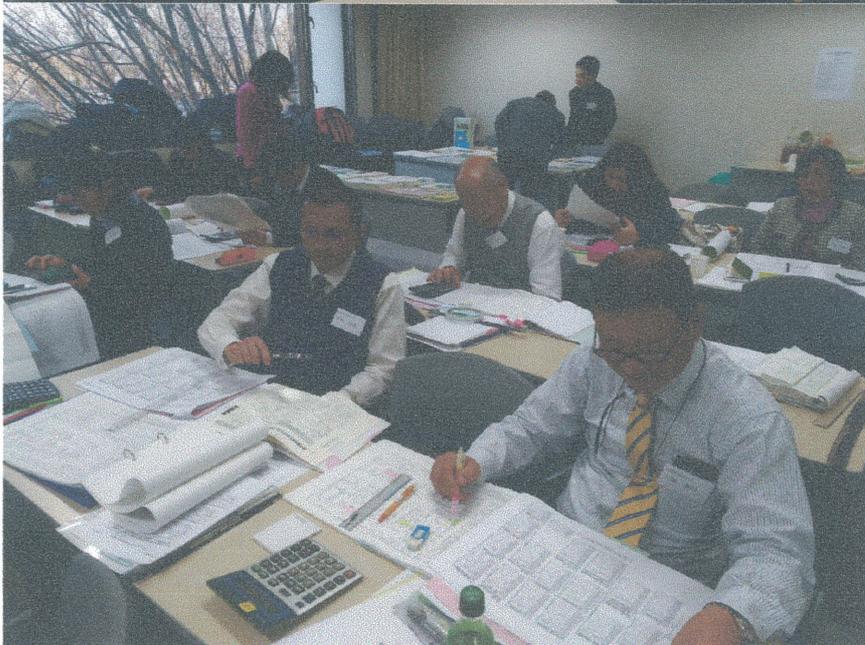
④ 財務分析も経年分析でなく、5～10年単位で比較検討することも大切。

今回研修に参加することで、歳入、歳出の構造や分析方法が少し理解できたのではないかと思います。今後の一般質問等含め、本市における財政状況を踏まえて議員活動を行なって行きたい。また、今後さらに財務に関わる理解を一層深めて行きたい。

尾嶋厚美議員

今回、「よくわかる市町村財政分析基礎講座」2日間の過程を終了しましたが、「財政状況資料集」には、さまざまな財政情報が載っており、この読み方をマスターできれば、本市の抱える財政課題が多く見え、また、「類以団体比較カード」をみることで、本市の立ち位置がみえ、特性がわかり、今後の財政運営のヒントになりなると思います。今回の基礎講座の内容をもとに継続してデータの収集・分析・活用をしていきたいと思料いたします。

3 写真・資料等



学 習 風 景

視察研修行程表

日数	月日	発着地	時間	摘 要	備考
1	1月16日 (木)	福知山	集合時間 7:30	きのさき4号 のぞみ216号 中央線 福知山駅 ⇒ 京都駅 ⇒ 東京駅 ⇒ 立川駅 06:57 08:21 08:35 10:53 11:08 11:47 自由席 指定席 快速	
		立川 市内	12:00 13:00	立川市内で食事	
		たましん RISURUU ホール 5階 第1 会議室	13:00 ～ 14:00	第1講 決算情報をいかに予算審議と連動させるかー誰でもできる 財政分析	
			14:15 ～ 15:45	第2講 市町村のふとところはー歳入の仕組みを考える	
			16:00 ～ 18:00	第3講 議会・市民から見た税金の使われ方ー歳出の仕組みを考える	
			18:15 ～ 19:30	第4講 様々な「財政指標」の見方、読み方、使い方	
		立川 市内	20:00 ～ 22:00	パレスホテル立川着 市内食事及び買い物 就寝	
2	1月17日 (金)	ホテル	9:00	パレスホテル立川発	
		たましん RISURUU ホール 5階 第1 会議室	09:15 ～ 12:00	第5講 類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ	
			12:00 ～	立川市内で食事	
			13:00 13:00 ～ 14:30	第6講 地方交付税制度の基礎の基礎ー随時財政対策債にも触れて	
			14:30 ～ 15:00	第7講 わがまちの財政分析ー市町村財政分析講座でできるようになること	
			15:10	中央線 のぞみ243号 きのさき17号 立川駅 ⇒ 東京駅 ⇒ 京都駅 ⇒ 福知山駅 15:32 16:16 17:00 19:17 19:28 20:59 快速 指定席 自由席	

支出科目： 研修費
合計金額： 118,800円
研修費 (29,700円 × 4人)

受講料 108,000円 (27,000円 × 4人)

テキスト代 10,800円 (2,700円 × 4人)

領収書は別紙

領収証

NO.20200106-23-1

福知山市議会 新政会 様

¥27,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として (田淵裕二様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO. 20200106-23-2

福知山市議会 新政会 様

¥2,700-

但し 財政分析基礎講座テキスト代として (田淵裕二様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO. 20200106-3

様

¥-

但し

2020年 月 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-7-1

福知山市議会 新政会 様

¥27,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として (尾嶋厚美様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-7-2

福知山市議会 新政会 様

¥2,700-

但し 財政分析基礎講座テキスト代として (尾嶋厚美様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-3

様

¥-

但し

2020年 月 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-27-1

福知山市議会 新政会 様

¥27,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として (藤本喜章様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-27-2

福知山市議会 新政会 様

¥2,700-

但し 財政分析基礎講座テキスト代として (藤本喜章様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-3

様

¥-

但し

2020年 月 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO.20200106-5-1

福知山市議会 新政会 様

¥27,000-

但し 財政分析基礎講座受講料として(大槻泰徳様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO. 20200106-5-2

福知山市議会 新政会 様

¥2,700-

但し 財政分析基礎講座テキスト代として(大槻泰徳様分)

2020年1月16日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収証

NO. 20200106-3

様

¥-

但し

2020年 月 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

支出科目： 研修費

合計金額： 167,280円

交通費・宿泊費(41,820円 × 4人)

交通費

福知山～立川	JR 往復乗車券	70,480円(17,620円×4人)
福知山～京都	JR 特急自由席	1,960円(490円×4人)
京都～東京	JR 新幹線普通指定席	22,440円(5,610円×4人)
東京～京都	JR 新幹線普通指定席	23,240円(5,810円×4人)
京都～福知山	JR 特急自由席	1,960円(490円×4人)

宿泊費

パレスホテル立川 47,200円(11,800円×4人)

領収書は別紙

支出科目： 資料購入費
合計金額： 45,360円

68,040円の内、45,360円とする。
(2019年10月～2020年3月まで6ヶ月、7,560×6ヶ月)

領収書の原本は上半期報告分に貼付しています。

領 収 証

No 095958

福知山市議会 新政会

殿

(5320040550)

¥ 68,040



但し 日経グローバル 購読代金として
(2019年7月～2020年3月)

上記の金額正に領収いたしました

2019年 8月 19日

東京都港区虎ノ門 4-3-12

株式会社 日経BPマーケティング

扱 印



支出科目： 調査研究費
 合計金額： 39,816円

公 納入通知書兼領収書

口座番号	01090-7-960071	加入者名	福知山市会計管理者
平成31年度	番号	6700057927-00-00	
納付者	〒 福知山市字内記13番地の1		
	新政会 様		
タブレット端末通信費議員負担金 (会派請求分) 令和元年度 下半期分			
納付金額	39,816円		
納入期限	令和2年 3月25日		
所属	01010000	市議会	議会事務局
会計	01 一般会計		
款	20 諸収入		
項	04 雑入		
目	03 雑入		
節	01 雑入		
細節	60 その他の雑入		
説明	15 タブレット端末通信料議員負担金		
上記のとおり納付してください。			
		福知山市長 大橋 一夫	
上記のとおり領収しました。			
京都府福知山市 市町村コード 262013			
		領収日付印	
		(納付者保管)	

納 め る と こ ろ	
福知山市役所会計室及び各支所出納窓口	
京都銀行	本店・支店
京都北都信用金庫	本店・支店
京都丹の国農業協同組合	本店・支店
関西みらい銀行	福知山支店
近畿労働金庫	福知山支店
但馬銀行	福知山支店
但馬信用金庫	福知山支店
福知山市内の京都農業協同組合	
福知山市内の中兵庫信用金庫	
近畿2府4県の郵便局 (大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)	

65000185830000



タブレット端末会派内活動使用状況

(令和元年 10月 1日 ～ 令和2年 3月31日)

会派名(新 政 会)

使用日	使用目的	使用内容
10月3日	会派内協議	上半期政務活動費について
10月16日	会派内協議	会派視察の行程表及び質問事項について
10月17日	会派内協議	決算審査委員会における意見書案について
11月5日	会派内協議	議会基本条例の検証について
11月21日	会派内協議	会派視察の振り返り
11月21日	会派内協議	議会基本条例の検証について
12月2日	会派内協議	決算審査委員会における自由討議まとめについて
12月4日	会派内協議	議会だより投稿スケジュールについて
12月17日	会派内協議	9月定例会の決算審査前倒し案について
12月17日	会派内協議	議員報酬の検討について
12月18日	会派内協議	議会だより一般質問原稿について
1月15日	会派内協議	会派:研修会等の行程について
1月28日	会派内協議	議会基本条例の検証について
2月7日	会派内協議	代表質問の質問項目について
2月20日	会派内協議	所管別質疑、総括質疑、自由討論について
2月25日	会派内協議	議会基本条例の検証について
3月3日	会派内協議	予算質疑項目などについて